2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月14日

上場会社名　株式会社 安楽亭　　上場取引所　東
コード番号　7562　URL http://www.anrakutei.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 柳　先
問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部　次長　(氏名) 町田　英之　TEL 048-859-0555
定時株主総会開催予定日　2026年6月26日　配当支払開始予定日　2026年6月29日
有価証券報告書提出予定日　2026年6月24日
決算補足説明資料作成の有無　：　有
決算説明会開催の有無　：　有　(証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 連結経営成績　(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	30,789	1.4	1,440	△1.4	1,320	△3.9	850	44.3
2025年3月期	30,353	0.3	1,459	△0.3	1,373	5.1	589	△39.1

(注) 包括利益　2026年3月期　908百万円　(53.7%)　2025年3月期　591百万円　(△40.9%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	184.23	―	10.8	5.3	4.7
2025年3月期	127.66	―	8.3	5.9	4.8

(参考) 持分法投資損益　2026年3月期　―百万円　2025年3月期　―百万円

(注) 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	25,747	8,265	32.1	1,789.86
2025年3月期	24,253	7,427	30.6	1,608.18

(参考) 自己資本　2026年3月期　8,265百万円　2025年3月期　7,427百万円

(注) 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	1,971	△687	△487	7,987
2025年3月期	1,300	△298	1,228	7,190

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	―	0.00	―	30.00	30.00	69	11.7	1.0
2026年3月期	―	0.00	―	15.00	15.00	69	8.1	0.9
2027年3月期(予想)	―	0.00	―	15.00	15.00		9.1	

(注) 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っており、2025年3月期については、当該株式分割前の配当金の額を記載しております。なお、株式分割を考慮した場合の2025年3月期の配当金は15円となります。2026年3月期及び2027年3月期(予想)については、株式分割後の数値を記載しております。

3. 2027年 3月期の連結業績予想（2026年 4月 1日～2027年 3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,957	△1.9	526	△1.9	456	△4.0	288	△7.1	62.36
通期	30,348	△1.4	1,303	△9.5	1,150	△12.9	762	△10.4	165.00

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 ： 無

新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無

② ①以外の会計方針の変更 ： 無

③ 会計上の見積りの変更 ： 無

④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期	4,622,868 株	2025年3月期	4,622,868 株
② 期末自己株式数	2026年3月期	4,692 株	2025年3月期	4,434 株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	4,618,202 株	2025年3月期	4,618,586 株

（注）当社は、2025年10月１日付で普通株式１株につき普通株式２株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

（参考）個別業績の概要

2026年3月期の個別業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

(1) 個別経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	10,516	△4.3	166	△44.6	715	9.2	721	134.1
2025年3月期	10,988	△1.6	300	127.5	655	26.9	308	538.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	156.26	―
2025年3月期	133.51	―

（注）当社は、2025年10月１日付で普通株式１株につき普通株式２株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、１株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	11,289	5,967	52.9	1,292.10
2025年3月期	11,585	5,271	45.5	1,141.51

（参考）自己資本 2026年3月期 5,967百万円 2025年3月期 5,271百万円

（注）当社は、2025年10月１日付で普通株式１株につき普通株式２株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、１株当たり純資産を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料４ページ「１．経営成績等の概況（４）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2026年５月22日（金）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当期の経営成績の概況 …… 2
（２）当期の財政状態の概況 …… 3
（３）当期のキャッシュ・フローの概況 …… 3
（４）今後の見通し …… 4
２．会計基準の選択に関する基本的な考え方 …… 4
３．連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）連結貸借対照表 …… 5
（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書 …… 7
連結損益計算書 …… 7
連結包括利益計算書 …… 8
（３）連結株主資本等変動計算書 …… 9
（４）連結キャッシュ・フロー計算書 …… 11
（５）連結財務諸表に関する注記事項 …… 13
（継続企業の前提に関する注記） …… 13
（セグメント情報等の注記） …… 13
（１株当たり情報の注記） …… 15
（重要な後発事象の注記） …… 15

１．経営成績等の概況

（１）当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善等緩やかな回復傾向が見られたものの、物価上昇による消費者マインドの下振れリスクに加え、米国の対外政策等国際情勢の不確実性が強まり、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

外食産業におきましても、物価の上昇と実質賃金の伸び悩みによって消費者の節約意識はなお強く、また、原材料価格やエネルギーコストの高騰、人手不足及び人件費上昇等により厳しい経営環境が継続しております。

このような環境において、当社グループは、経営理念である「食を通じて地域社会の豊かな生活文化の向上に貢献する」に基づき、お客様の基本ニーズである「安全・安心」を最重視した自然肉の商品提供を堅持しつつ、近年の消費者動向の変容に適応し、お客様に選んでいただけるお店づくりを進めるため、コストパフォーマンスや体験価値を追求した商品開発及び販売戦略に注力してまいりました。また、統一的なサービス提供のみでなく、各業態各店舗での限定メニューを開発し横展開していく取り組みも積極的に進め、商品開発力の活性化を図っております。

店舗戦略としては、当連結会計年度において、既存店舗のリニューアル改装やグループ内での業態見直しを計画的に進め、安楽亭（焼肉）４店舗をフォルクス（ステーキ）及びしゃぶしゃぶどん亭へ業態転換したほか、不採算店舗を中心に11店舗を閉店する等、収益改善施策を実行しました。

以上の結果、当連結会計年度の業績につきましては、売上高307億89百万円（対前年同期比1.4％増）、営業利益14億40百万円（対前年同期比1.4％減）、経常利益13億20百万円（対前年同期比3.9％減）、親会社株主に帰属する当期純利益８億50百万円（対前年同期比44.3％増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 安楽亭・七輪房業態

安楽亭・七輪房業態の当連結会計年度末の店舗数は152店舗であります。内訳は直営107店舗、暖簾11店舗、ＦＣ34店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、「安楽亭」では、毎月29日前後に実施する「肉の日キャンペーン」を強化し認知拡大を図ったほか、丼メニュー、冷麺、ビビンバ等に焼肉1皿を組み合わせた「＆（アンド）焼肉シリーズ」販売、「昼も夜もごはん・スープおかわり無料」のサービス提供等、コストパフォーマンスの高いメニューやサービスを拡充しております。また一方、「特別な肉を　身近な場所で」のコンセプトのもと、ブランド和牛「松阪牛」をお得価格で店舗限定販売する等、付加価値の高いメニューの充実にも取り組みました。

「七輪房」においては、「冷麺フェア」や「いちごフェア」等季節ごとのフェアを強化した他、年末年始を中心に、新たな宴会コースの販売に力を入れるなど、積極的に集客施策を展開しました。

以上の結果、安楽亭・七輪房業態の当連結会計年度の売上高は106億73百万円（対前年同期比6.1％減）となり、セグメント利益（営業利益）は２億74百万円（対前年同期比40.8％減）となりました。

② アークミール業態

アークミール業態の当連結会計年度末の店舗数は134店舗であります。内訳は直営132店舗、ＦＣ２店舗であります。アークミール業態には、「ステーキのどん」、「しゃぶしゃぶどん亭」、「フォルクス（ステーキ）」を含んでおります。なお、第４四半期において、２月に「フォルクス足立加平店」、３月に「しゃぶしゃぶどん亭草加花栗店」がオープンしております。

販売促進及び商品開発につきましては、ステーキのどんの「牛たっぷりジューシーマウンテン」、しゃぶしゃぶどん亭の「至福の黒毛和牛フェア」、フォルクスの「特選ハラミステーキ」等、お得感あるいはプレミアム感を打ち出した多彩なメニュー施策によって来店促進を図りました。

また、ＤＸ推進の取り組みとして、各業態の店舗へテーブルオーダータブレットや配膳ロボット導入を進め（配膳ロボットはしゃぶしゃぶどん亭のみ）、お客様サービスの向上とオペレーション効率化を図っております。

以上の結果、アークミール業態の当連結会計年度の売上高は196億６百万円（対前年同期比5.6％増）となり、セグメント利益（営業利益）は15億53百万円（対前年同期比13.3％増）となりました。

④ その他業態

その他業態の当連結累計会計年度末の店舗数は８店舗であります。内訳は直営６店舗、ＦＣ２店舗であります。なお、その他業態には、「からくに屋（焼肉）」、「花炎亭（焼肉）」、「上海菜館（中華）」、「カフェビーンズ（喫茶）」、「安楽亭ベトナム（焼肉）」を含んでおります。

その他業態の当連結会計年度の売上高は５億10百万円（対前年同期比17.8％増）となり、セグメント損失（営業損失）は16百万円（前年同期はセグメント損失３百万円）となりました。

（２）当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産は、前連結会計年度末に比べ14億93百万円増加し、257億47百万円となりました。これは、現金及び預金の増加、有形固定資産の増加等が要因です。負債は、前連結会計年度末に比べ６億55百万円増加し、174億81百万円となりました。これは、社債の発行、長期割賦未払金の増加等が要因です。純資産は、前連結会計年度末に比べ８億38百万円増加し、82億65百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する当期純利益の計上等が要因です。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は79億87百万円と、前年同期と比べ７億97百万円（対前年同期比11.1％）の増加となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益の計上13億22百万円、減価償却費の計上８億47百万円等により19億71百万円の収入となりました。前年同期は13億円の収入であり、前年同期と比べて６億71百万円の収入の増加となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出６億76百万円、無形固定資産の取得による支出１億35百万円、敷金及び保証金の回収による収入１億６百万円等により６億87百万円の支出となりました。前年同期は２億98百万円の支出であり、前年同期と比べて３億88百万円の支出の増加となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入12億円、長期借入金の返済による支出19億99百万円、社債の発行による収入４億86百万円、割賦債務の返済による支出４億77百万円等により４億87百万円の支出となりました。前年同期は12億28百万円の収入でありました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年３月期	2023年３月期	2024年３月期	2025年３月期	2026年３月期
自己資本比率(%)	22.4	23.0	30.7	30.6	32.1
時価ベースの自己資本比率(%)	62.2	75.6	72.9	66.8	65.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	△10.0	15.8	4.1	9.3	6.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	△9.8	5.4	20.6	9.0	9.3

(注)１．自己資本比率：自己資本／総資産
時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産
キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー
インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い
２．各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。
３．株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。
４．営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の「営業活動によるキャッシュ・フロー」を使用しております。
有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の「利息の支払額」を使用しております。

（４）今後の見通し

中東地域等の紛争、米国の対外政策動向による混乱等、不安定な国際情勢が当面続く見込みのなかで、外食業界においては、食材費、水光熱費、人件費等のコスト上昇、物価高の影響による消費者の節約志向の高まり、深刻な人手不足等の要素が重なり、厳しい経営環境が継続するものと思われます。

このような状況のなかで、当社グループは、お客様に選ばれるレストランであるために、より価値ある外食体験を、優れたコストパフォーマンスで提供していくことが重要ととらえ、新時代のニーズに応える新業態や新商品の開発とサービス向上、そして各業態の魅力や強みをお客様に確かに実感いただくための施策に、さらに力を入れて取り組む方針です。合わせて、ＤＸやＡＩ活用によって業務生産性とお客様の利便性を両立して引き上げていく計画です。

そして、これらの取り組みのためには、明確な目的感を持った組織構築と、それを支える多様な人材の確保と育成をさらに進める必要があり、今後も人的投資を計画的に進めてまいります。

経営理念である「食を通じて地域社会の豊かな生活文化の向上に貢献する」の実現のため、また、引き続き収益力の強化と企業価値向上を目指し、これからも役職員全員が力を尽くしてまいる所存です。

通期の連結業績見通しにつきましては、売上高303億48百万円、営業利益13億３百万円、経常利益11億50百万円、親会社株主に帰属する当期純利益７億62百万円を見込んでおります。

２．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

３．連結財務諸表及び主な注記

（１）連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年３月31日)	当連結会計年度 (2026年３月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,191,117	7,988,510
売掛金	1,382,581	1,382,156
商品及び製品	752,787	655,652
仕掛品	8,472	10,858
原材料及び貯蔵品	964,971	1,252,830
前払費用	321,235	311,062
その他	40,801	91,612
貸倒引当金	△2,430	△1,630
流動資産合計	10,659,537	11,691,053
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,206,157	17,350,274
減価償却累計額	△14,496,820	△14,194,444
建物及び構築物（純額）	2,709,337	3,155,830
機械装置及び運搬具	283,950	280,046
減価償却累計額	△237,724	△246,067
機械装置及び運搬具（純額）	46,225	33,979
工具、器具及び備品	4,958,185	5,247,115
減価償却累計額	△4,414,273	△4,536,569
工具、器具及び備品（純額）	543,912	710,546
土地	6,068,882	6,068,882
リース資産	537,345	473,059
減価償却累計額	△430,397	△362,971
リース資産（純額）	106,948	110,087
建設仮勘定	6,864	12,663
有形固定資産合計	9,482,170	10,091,990
無形固定資産	588,891	646,471
投資その他の資産		
投資有価証券	185,860	260,501
長期前払費用	54,580	43,238
繰延税金資産	345,743	166,445
敷金及び保証金	2,932,990	2,830,970
その他	27,443	27,453
貸倒引当金	△23,313	△23,313
投資その他の資産合計	3,523,305	3,305,295
固定資産合計	13,594,367	14,043,757
繰延資産		
社債発行費	―	13,005
繰延資産合計	―	13,005
資産合計	24,253,904	25,747,816

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年３月31日)	当連結会計年度 (2026年３月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,120,355	1,004,895
短期借入金	1,934,000	2,350,000
１年内返済予定の長期借入金	1,645,057	2,417,890
リース債務	42,043	49,298
割賦未払金	360,271	590,922
未払金	399,232	319,453
設備関係未払金	64,277	66,224
未払費用	844,004	843,136
未払法人税等	199,107	210,208
未払消費税等	163,672	195,347
賞与引当金	134,000	145,150
その他	412,612	426,869
流動負債合計	7,318,635	8,619,396
固定負債		
社債	―	500,000
長期借入金	7,401,769	5,829,606
リース債務	141,498	132,566
長期割賦未払金	733,526	1,271,624
繰延税金負債	105,886	107,068
役員退職慰労引当金	168,365	181,312
退職給付に係る負債	392,632	388,578
資産除去債務	342,825	349,533
その他	221,500	102,260
固定負債合計	9,508,004	8,862,550
負債合計	16,826,639	17,481,946
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,790,461	3,790,461
資本剰余金	1,166,680	1,166,680
利益剰余金	2,418,618	3,200,160
自己株式	△13,269	△14,181
株主資本合計	7,362,492	8,143,121
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,569	109,537
為替換算調整勘定	12,892	16,801
退職給付に係る調整累計額	1,311	△3,590
その他の包括利益累計額合計	64,773	122,749
純資産合計	7,427,265	8,265,870
負債純資産合計	24,253,904	25,747,816

（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　2024年４月１日 至　2025年３月31日）	当連結会計年度 （自　2025年４月１日 至　2026年３月31日）
売上高	30,353,499	30,789,799
売上原価	11,431,234	11,718,186
売上総利益	18,922,264	19,071,612
販売費及び一般管理費	17,462,319	17,631,494
営業利益	1,459,945	1,440,118
営業外収益		
受取利息	3,274	9,033
受取配当金	3,764	4,588
受取地代家賃	52,586	51,704
その他	29,032	52,581
営業外収益合計	88,657	117,908
営業外費用		
支払利息	143,246	211,783
賃貸収入原価	11,920	11,017
支払手数料	5,329	3,007
その他	14,228	11,916
営業外費用合計	174,725	237,724
経常利益	1,373,877	1,320,302
特別利益		
固定資産売却益	3,836	363
受取補償金	57,000	300,000
特別利益合計	60,836	300,363
特別損失		
固定資産売却損	128	―
固定資産除却損	27,577	27,884
減損損失	401,864	214,226
賃貸借契約解約損	14,601	55,588
特別損失合計	444,171	297,699
税金等調整前当期純利益	990,542	1,322,966
法人税、住民税及び事業税	279,566	304,864
法人税等調整額	121,374	167,284
法人税等合計	400,941	472,148
当期純利益	589,601	850,818
親会社株主に帰属する当期純利益	589,601	850,818

連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　2024年４月１日 至　2025年３月31日）	当連結会計年度 （自　2025年４月１日 至　2026年３月31日）
当期純利益	589,601	850,818
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,749	58,968
為替換算調整勘定	△1,392	3,908
退職給付に係る調整額	457	△4,901
その他の包括利益合計	1,814	57,975
包括利益	591,415	908,793
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	591,415	908,793

（３）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自　2024年４月１日　至　2025年３月31日)

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,790,461	3,080,174	△84,475	△12,635	6,773,524
当期変動額					
欠損填補		△1,913,493	1,913,493		—
剰余金の配当					
親会社株主に帰属する当期純利益			589,601		589,601
自己株式の取得				△633	△633
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	△1,913,493	2,503,094	△633	588,967
当期末残高	3,790,461	1,166,680	2,418,618	△13,269	7,362,492

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	47,819	14,284	854	62,959	6,836,483
当期変動額					
欠損填補					—
剰余金の配当					—
親会社株主に帰属する当期純利益					589,601
自己株式の取得					△633
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	2,749	△1,392	457	1,814	1,814
当期変動額合計	2,749	△1,392	457	1,814	590,781
当期末残高	50,569	12,892	1,311	64,773	7,427,265

当連結会計年度(自 2025年４月１日　至 2026年３月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,790,461	1,166,680	2,418,618	△13,269	7,362,492
当期変動額					
欠損填補					
剰余金の配当			△69,276		△69,276
親会社株主に帰属する当期純利益			850,818		850,818
自己株式の取得				△912	△912
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	―	―	781,541	△912	780,628
当期末残高	3,790,461	1,166,680	3,200,160	△14,181	8,143,121

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	50,569	12,892	1,311	64,773	7,427,265
当期変動額					
欠損填補					―
剰余金の配当					△69,276
親会社株主に帰属する当期純利益					850,818
自己株式の取得					△912
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	58,968	3,908	△4,901	57,975	57,975
当期変動額合計	58,968	3,908	△4,901	57,975	838,604
当期末残高	109,537	16,801	△3,590	122,749	8,265,870

（４）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　2024年４月１日 至　2025年３月31日）	当連結会計年度 （自　2025年４月１日 至　2026年３月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	990,542	1,322,966
減価償却費	789,135	847,583
減損損失	401,864	214,226
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△1,200	△800
賞与引当金の増減額（△は減少）	△21,300	11,150
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	12,967	12,947
店舗閉鎖損失引当金の増減額（△は減少）	△567	―
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△19,946	△11,432
受取利息及び受取配当金	△7,038	△13,621
支払利息	143,246	211,783
為替差損益（△は益）	89	1,044
固定資産売却損益（△は益）	△3,708	△363
受取補償金	△57,000	△300,000
固定資産除却損	27,577	27,884
賃貸借契約解約損	14,601	55,588
売上債権の増減額（△は増加）	86,710	425
棚卸資産の増減額（△は増加）	△372,138	△193,109
前渡金の増減額（△は増加）	△1,384	△6,599
仕入債務の増減額（△は減少）	36,429	△115,459
未払金の増減額（△は減少）	53,407	△36,047
未払消費税等の増減額（△は減少）	△214,131	31,674
未払費用の増減額（△は減少）	3,424	△1,134
預り金の増減額（△は減少）	△46,865	△22,112
前受収益の増減額（△は減少）	△4,149	△294
その他	△27,500	180,408
小計	1,783,066	2,216,707
利息及び配当金の受取額	6,297	12,722
利息の支払額	△144,007	△211,238
補償金の受取額	57,000	300,000
店舗閉鎖に伴う支払額	△17,007	△46,761
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△385,289	△300,145
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,300,060	1,971,284

（単位：千円）

	前連結会計年度 (自 2024年４月１日 至 2025年３月31日)	当連結会計年度 (自 2025年４月１日 至 2026年３月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	204,998	―
有形固定資産の取得による支出	△496,892	△676,047
有形固定資産の除却による支出	△2,900	△360
有形固定資産の売却による収入	16,905	363
無形固定資産の取得による支出	△125,143	△135,616
敷金及び保証金の差入による支出	△1,195	△14,771
敷金及び保証金の回収による収入	78,606	106,803
預り保証金の返還による支出	△12,500	△6,000
預り保証金の受入による収入	1,500	2,500
貸付けによる支出	△173	―
貸付金の回収による収入	6,129	356
投資その他の資産の増減額（△は増加）	31,919	35,310
投資活動によるキャッシュ・フロー	△298,747	△687,461
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	200,000	416,000
長期借入れによる収入	3,100,000	1,200,000
長期借入金の返済による支出	△1,718,160	△1,999,330
社債の発行による収入	―	486,310
割賦債務の返済による支出	△318,276	△477,604
リース債務の返済による支出	△34,150	△42,794
自己株式の取得による支出	△633	△912
配当金の支払額	―	△69,109
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,228,778	△487,441
現金及び現金同等物に係る換算差額	261	1,011
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	2,230,353	797,392
現金及び現金同等物の期首残高	4,959,748	7,190,101
現金及び現金同等物の期末残高	7,190,101	7,987,494

（５）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

（セグメント情報）

１　報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループはレストラン事業における焼肉レストランを主要事業として、ブランドごとの包括的な事業戦略を立案し、事業活動を展開しております。

「安楽亭・七輪房業態」は、郊外型で開放的な空間での焼肉をリーズナブルな価格で提供している「安楽亭」と焼肉部門第二の核として「安楽亭」より客単価の高い設定で、個室を多く配置し、落ち着いた空間での食事を提供している「七輪房」を含んでおります。「アークミール」は「ステーキのどん」、「しゃぶしゃぶどん亭」、「フォルクス（ステーキ）」を含んでおります。「その他業態」は、「からくに屋（焼肉）」、「花炎亭（焼肉）」、「上海菜館（中華）」、「カフェビーンズ（喫茶）」、「安楽亭ベトナム（焼肉）」を含んでおります。

２　報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

３　報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自　2024年４月１日　至　2025年３月31日)

（単位：千円）

	報告セグメント				合計	調整額 (注)１	連結財務諸表計上額 (注)２
	安楽亭・七輪房業態	アークミール業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	11,360,468	18,559,728	433,303	30,353,499	30,353,499	―	30,353,499
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	―	―
計	11,360,468	18,559,728	433,303	30,353,499	30,353,499	―	30,353,499
セグメント利益又はセグメント損失(△)	463,868	1,370,898	△3,038	1,831,728	1,831,728	△371,783	1,459,945
セグメント資産	13,580,466	9,653,663	703,994	23,938,125	23,938,125	315,779	24,253,904
その他の項目							
減価償却費	330,554	365,726	27,235	723,516	723,516	65,619	789,135
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	441,449	662,962	73,118	1,177,530	1,177,530	9,426	1,186,957

（注）１．調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又はセグメント損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額315,779千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額9,426千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

２．セグメント利益又はセグメント損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自　2025年４月１日　至　2026年３月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)１	連結財務諸表計上額 (注)２
	安楽亭・七輪房業態	アークミール業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	10,673,053	19,606,341	510,405	30,789,799	30,789,799	―	30,789,799
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	―	―
計	10,673,053	19,606,341	510,405	30,789,799	30,789,799	―	30,789,799
セグメント利益又はセグメント損失(△)	274,809	1,553,766	△16,656	1,811,920	1,811,920	△371,801	1,440,118
セグメント資産	13,208,177	11,450,656	841,527	25,500,361	25,500,361	247,454	25,747,816
その他の項目							
減価償却費	295,393	445,241	30,249	770,884	770,884	76,698	847,583
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	378,984	1,326,441	23,440	1,728,866	1,728,866	16,965	1,745,831

(注) １．調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又はセグメント損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額247,454千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額16,965千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

２．セグメント利益又はセグメント損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（１株当たり情報の注記）

	前連結会計年度 （自　2024年４月１日 至　2025年３月31日）	当連結会計年度 （自　2025年４月１日 至　2026年３月31日）
１株当たり純資産額	1,608.18円	1,789.86円
１株当たり当期純利益	127.66円	184.23円

（注）１．潜在株式調整後１株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
２．当社は、2025年10月１日付で普通株式１株につき普通株式２株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、１株当たり純資産額及び１株当たり当期純利益を算定しております。
３．１株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 （自　2024年４月１日 至　2025年３月31日）	当連結会計年度 （自　2025年４月１日 至　2026年３月31日）
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	589,601	850,818
普通株主に帰属しない金額(千円)	―	―
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	589,601	850,818
普通株式の期中平均株式数(株)	4,618,586	4,618,202

４．１株当たり純資産額の算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度末 (2025年３月31日)	当連結会計年度末 (2026年３月31日)
純資産の部の合計額(千円)	7,427,265	8,265,870
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	―	―
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	7,427,265	8,265,870
１株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	4,618,434	4,618,176

（重要な後発事象の注記）

該当事項はありません。